



PROLOGIS

プレスリリース

2016年1月18日

プロロジス、茨城県古河市において
日立物流ファインネクスト専用物流(BTS型)施設を開発
～日立物流グループとの6棟目のBTS型施設～



「プロロジスパーク古河2」完成イメージパース

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、日立物流ファインネクスト株式会社のための専用物流(BTS型)施設として、茨城県古河市において「プロロジスパーク古河2」の開発を決定したと発表しました。プロロジスが日立物流グループのために開発するBTS型施設としては、6件目の案件となります。

「プロロジスパーク古河2」は、プロロジスがBTS型施設の集積パークとして開発を進めている「プロロジスパーク古河(敷地約105,000平方メートル)」における2棟目の施設となります。1棟目の「プロロジスパーク古河1」は本年10月に竣工予定であり、3棟目の「プロロジスパーク古河3」については現在入居企業を募集しています。なお、当初「プロロジスパーク古河2」として利用予定だった土地の一部は、日立物流ファインネクスト社に売却し、同社が危険物倉庫を開発する予定です。

開発地は、圏央道を利用して東日本広域をカバーできるため今後の物流適地として期待されるエリアであり、日立物流ファインネクスト社は、「プロロジスパーク古河2」を事業拡大のための戦略拠点として活用する予定です。

■ 開発地

「プロロジスパーク古河」は、茨城県と都心部とをつなぐ新4号国道から至近に位置し、圏央道 五霞ICからは約6km(約10分)の北利根工業団地内に位置しています。昨年3月には、圏央道/東北自動車道 久喜白岡JCT~圏央道 境古河IC間が開通し、神奈川・東京西部方面から東北自動車道へのアクセスが可能となりました。さらに、2016年度には、圏央道の延伸により都心部から放射状にのびる東名・中央・関越・東北・常磐・東関東の6つの自動車道とつながる計画となっています。これにより、関東

全域のみならず、東北方面や関西方面への広域配送が可能となり、物流の戦略拠点としてポテンシャルの高いエリアです。

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク古河 2」は、地上 2 階建て、延べ床面積約 22,000 平方メートルの施設として開発されます。1 階には、施設両面にトラックバースと大庇を設け、荷捌きの効率性が高く、雨天時にも作業のしやすい環境を整えます。加えて、梁下有効高は 1、2 階とも 6.5 メートルを確保し、1F の床荷重は 1 平方メートルあたり 2.5 トンを確保するなど、標準的な仕様に比べハイスペックで汎用性の高い施設設計とする予定です。

また、施設内照明は庫内を含め全館 LED を採用するほか、施設屋根面は 1 メガワットの太陽光パネルを設置する計画です。さらに、事業継続性の観点から、停電時・断水時でもトイレ、通信、セキュリティー等の機能を維持できる非常時用発電機を設置する予定です。

「プロロジスパーク古河 2」計画概要

名 称	プロロジスパーク古河 2
所 在 地	茨城県古河市
敷 地 面 積	23,789.43 m ² (7,196.30 坪)
計画延床面積	21,844.36 m ² (6,607.91 坪)
構 造	地上 2 階建
着 工 予 定	2016 年 7 月
竣 工 予 定	2017 年 4 月末

■ プロロジスの専用物流(BTS 型)施設

プロロジスは「プロロジスパーク古河 1」「プロロジスパーク神戸 2」を含め、「プロロジスパーク海老名」や「プロロジスパーク尼崎 3」など、全国に 12 棟の BTS 型施設を運営・開発中です。また、「プロロジスパーク海老名 2」「プロロジスパーク古河 3」「プロロジスパーク神戸 3」「プロロジスパーク市川 3」の開発を計画中であり、入居企業を募集しています。

プロロジスは、今後もお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室 担当:古川
TEL: 03-6860-9107 / FAX: 03-6860-9020
E-mail: sfurukawa @prologis.co.jp